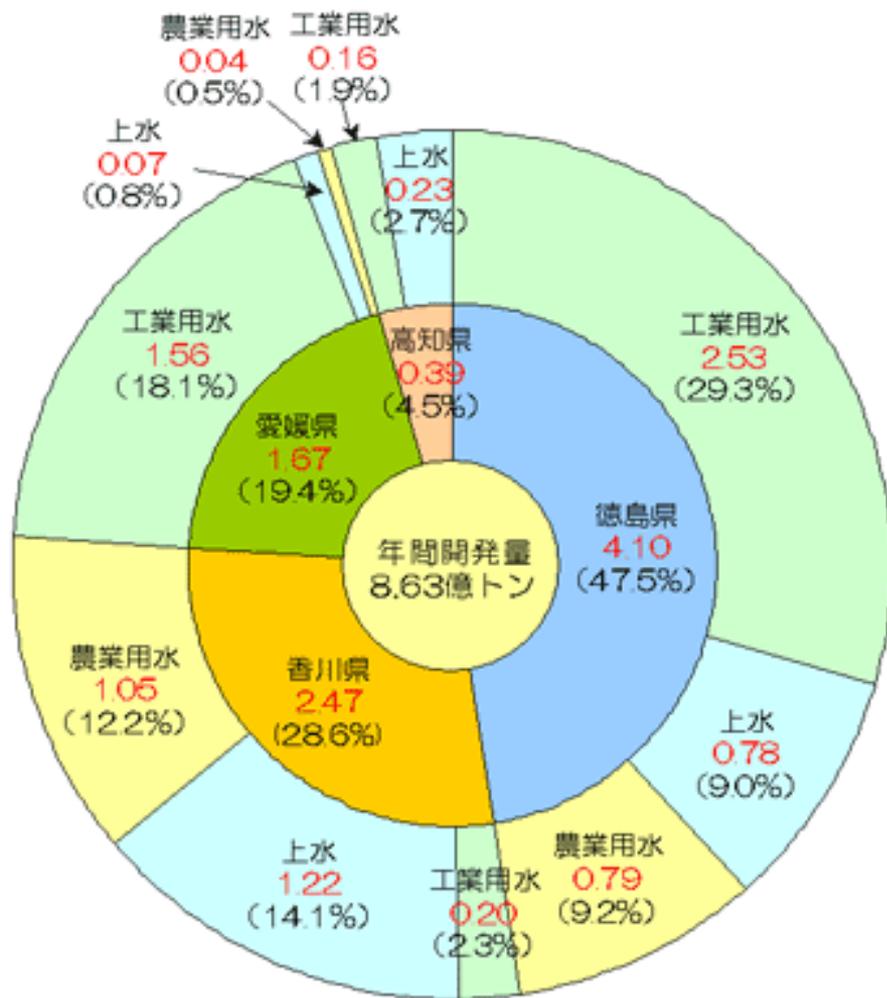


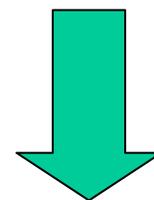
「吉野川水源地域の現状と課題」

高知県政策企画部企画調整課

1. 高知県の利水の状況(2)



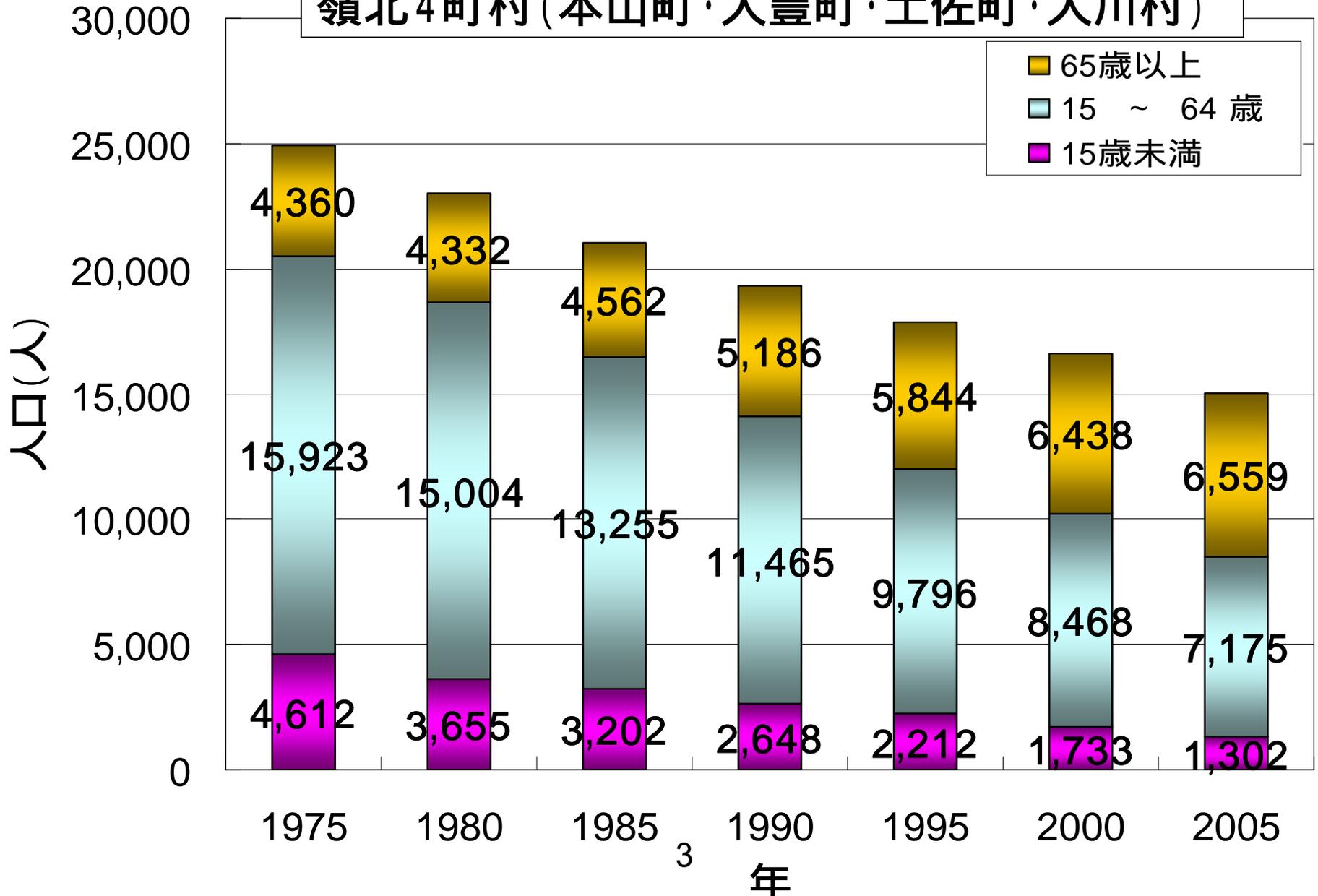
早明浦ダム関連で新たに約8億6,300万トンの水利用が可能。



高知県では、新たに開発した水の約4.5%を使用

2. 過疎、高齡化の状況(1)

嶺北4町村(本山町・大豊町・土佐町・大川村)



2. 過疎、高齢化の状況(2)

- ・早明浦ダム建設に伴い、水没 322世。
- ・嶺北4町村で、1975年(昭和50年)から2005年(平成17年)で人口がおよそ4割相当の約9,800人が減少し高齢化率(総人口に占める65歳以上の割合)が上昇。
- ・特に大川村では人口が1960年の4,114人をピークに2005年には538人、高齢化率が43.7%となり、過疎・高齢化が顕著となっている。

嶺北4町村対象

	1975年	2005年	
人口(人)	24,895 [808,397] (111,939,643)	15,036 [796,232] (127,767,994)	39.6%減少 [1.5%減少] (14.1%増)
高齢化率(%)	17.5% [12.2%] (7.9%)	43.7% [25.9%] (20.1%)	26.2ポイント進行 [13.7ポイント進行] (12.2ポイント進行)

上段は嶺北4町村
中段は高知県
下段は全国データを示す

3. 地元からの要望項目

- ・水質悪化(濁水・悪臭)対策としての森林整備の促進
- ・国直轄による砂防、治山の指定区域の整備、湖岸整備の促進
- ・県管理区間の整備計画の作成(浸水防止護岸整備の促進)

知事要望：平成20年4月28日(本山町議会、大豊町議会)

3-1 森林整備の状況(1)

森林環境税

高知県は県土の84%が森林で日本で一番の森林率。しかし、過疎や高齢化により、森と生きる人が減少。

その結果、森が急激に荒廃し、洪水・濁水がおこりやすい状態。高知県は森と一緒に生きていくため、全国で初めて森林環境税(500円/年)を平成15年から導入。

・実施事業

森林環境緊急保全事業

生き生きこうちの森づくり推進事業

森林ボランティア活動推進事業



「森林環境税」のロゴマーク

3-1 森林整備の状況(2)

森林環境税を活用した事業実績

単位:ha

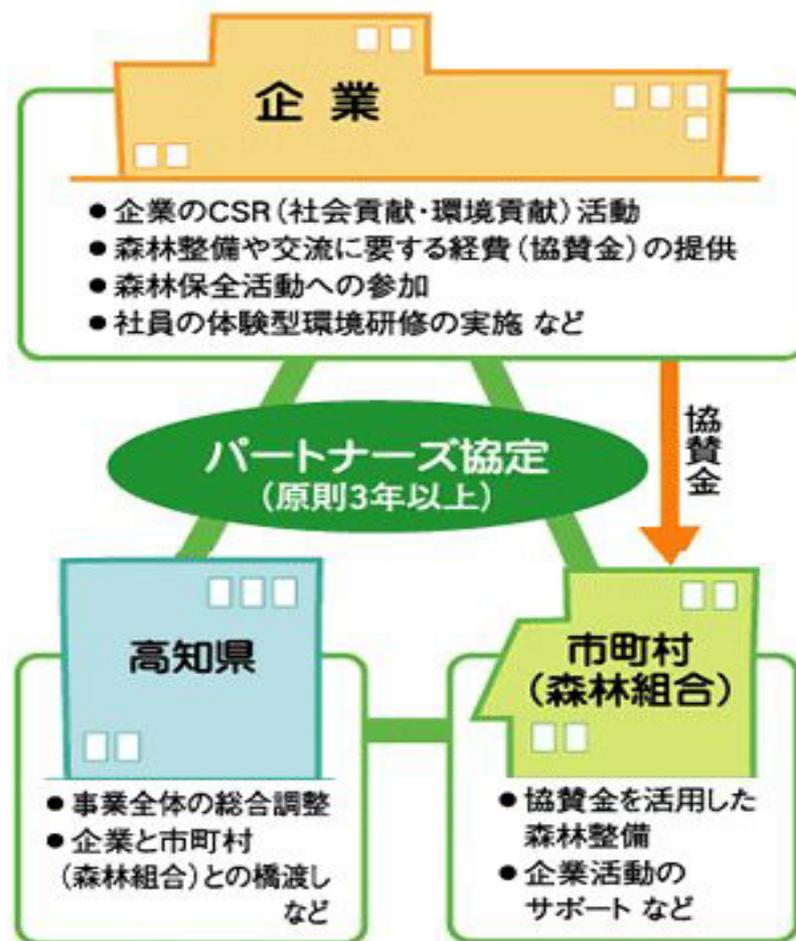
事業名		年度	H15	H16	H17	H18	H19	合計
		嶺北 4町村	森林環境 緊急保全事業	12.97	5.35	35.60	56.69	40.13
生き生きこうちの 森づくり推進事業	-		-	2.34	3.14	1.59	7.07	
森林保全ボランティア 活動推進事業	-		2.20	2.20	1.00	4.55	9.95	
年度計	12.97		7.55	40.14	60.83	46.27	167.76	
県全体総計		91.49	348.43	695.12	693.69	684.98	2513.71	

3-1 森林整備の状況(3)

協働の森づくり事業

国内での温室効果ガス（二酸化炭素）の排出権取引制度の創設を視野に入れながら、**環境先進企業と地域とが協働**して「森林の再生」と「交流の促進」を柱とした取り組みを行うことで、現在手入れの行き届かない状況となっている森林（人工林）の再生を進める。

「環境先進企業との協働の森づくり事業」の仕組み



3-2 濁水対策状況(1)

ダム完成後の昭和51年9月の台風17号により濁水が発生



昭和51年11月に国・県・公団等で

「吉野川水系濁水対策調査研究会」設置。

昭和58年に再度濁水が発生。

昭和61年9月**「早明浦ダム濁水対策調査研究会」**を設置



「取水施設の選択取水への改善が有効」



選択取水設備の改善に着手



平成11年3月**選択取水設備完成**

3-2 濁水対策状況(2)

平成11年3月選択取水設備完成



3-2 濁水対策状況(3)

平成11年9月15日 台風16号により貯水池へ濁水が流入

- ・9月17日 ダム地点に高濃度濁水が流入。高濃度層からの選択取水実施。
- ・9月20日 関係機関からの要望により、選択取水設備操作により比較的濁度の低い層から取水開始。

平成11年11月29日

「**早明浦ダム選択取水設備操作に関する検討会**」設置

平成11年度から平成19年度にかけ、検討会を9回実施し、操作運用の基本方針、操作方法などについて協議。

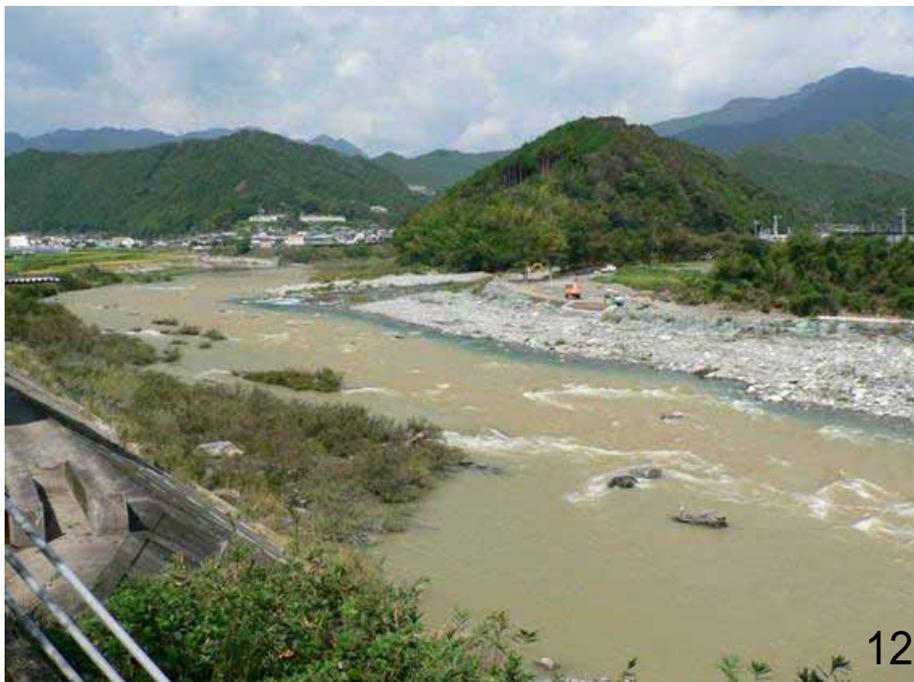
主な検討内容

- ・平成12年3月 第3回検討会 選択取水設備操作運用基本方針(案)を策定
- ・平成13年3月 第4回検討回 選択取水設備操作運用基本方針(案)を継続承認
- ・平成16年3月 } 第6回、第7回検討会
- 平成17年1月 } 選択取水設備の操作方法を変更

3-2 濁水対策状況(4)



H17年9月 貯水池状況



H17年9月 河川状況

提供:(独)水資源機構吉野川局

4 . 早明浦ダム上下流事業等 (1)

吉野川水源地域対策基金

吉野川水系の治水・利水のための諸施策に伴い必要となる水没関係住民の生活再建対策並びに水没地域の振興、整備等のための資金援助、調査研究を行うとともに、関係地域の相互理解及び交流の促進等を行うことにより、吉野川水系における治水及び利水のための諸施策の推進、水没関係住民の生活の安定及び水没関係地域の振興を図り、流域関係地域の一体的発展を資することを目的とする。

4. 早明浦ダム上下流事業等(2)

交流促進事業……流域関係地域の相互理解及び交流促進
に関する事業(交流促進事業)

早明浦湖水祭:水神祭・シンポジウム・子ども交歓会
(高松市と嶺北地域の子どもを対象)

早明浦ダム事業……早明浦ダムに係る水源地域の振興及び
整備に関する事業

事業内容:施設整備、環境整備、
水源地の森整備事業等12事業

対象地域:本山町、大豊町、土佐町、大川村、いの町
(旧本川村)

4. 早明浦ダム上下流事業等(3)

交流促進事業(早明浦湖水祭)



シンポジウム実施状況



子ども交歓会実施状況